

河野としのり

レポート

【令和5年12月定例県議会、及び令和6年3月予算委員会】より

知事 各執行部に対し
定例議会及び3月予算委員会にて、
地域の具体的問題点を詳細に訴える



この
河野としのり県議

千葉県総合救急災害医療センターについて

河野としのり県議

千葉県美浜区豊砂6番にできたこの千葉県総合救急災害医療センターは、埋立地の海に面した病院であり、かつ災害拠点病院という事から、大地震、大津波、高潮に対して対策を考慮していると思うが、建設、建屋構造においてどのような考慮がなされているのか。

病院局経営管理課長

総合救急災害医療センターでは、大規模災害への対策として、県の浸水想定に基づき、約2.5メートルの盛土、機械室や電気室の上階への設置を行うとともに、液状化対策として地盤改良を実施しています。さらに、病棟を免震構造とし、3日間対応可能な給水の備蓄や非常用発電機の設置、7日分の排水を貯留できる緊急用排水槽やマンホールトイレの設置を行うなど、万全の対策を講じています。

河野としのり県議
ハイブリッドERや大きなエレベーターが設置されているが、これにより従来と違うどのような救急医療がなされていくのか。

河野としのり県議
災害が発生した場合、病院周辺の地域住民にとって、災害時対応の病院が直ぐ傍にあることは心強いが、総合救急災害医療センターでは、身体や精神の患者に対し、どのような規模で、どのような対応を行うのか。

健康福祉部障害者福祉推進課長
精神保健福祉センターでは、高い専門性を要する、薬物、ギャンブル等依存症への対応に当たり、専門職による個別相談や治療回復プログラムを実施しているほか、ひきこもりについては、ひきこもり地域支援センターを設置し、必要に応じて訪問による支援を行うなど、増加する精神疾患に関する県民からの相談に対応し、専門性を生かして総合的なメンタルヘルスに取り組んでいます。



病院局経営管理課長
新規導入したハイブリッドERは、救急搬送された患者を移動することなく、CT撮影

河野としのり県議
災害時には、ロビーや廊下、精神科病棟の体育館等を患者収容スペースに転用することで、センターの病床数を150床から300床まで増やすことが可

河野としのり県議
精神保健福祉センターでは、高い専門性を要する、薬物、ギャンブル等依存症への対応に当たり、専門職による個別相談や治療回復プログラムを実施しているほか、ひきこもりについては、ひきこもり地域支援センターを設置し、必要に応じて訪問による支援を行うなど、増加する精神疾患に関する県民からの相談に対応し、専門性を生かして総合的なメンタルヘルスに取り組んでいます。

生成AIは活用していくとして、
子どもたちの思考の習慣と力、感性の表現力、
前例のない状況を解決する思考する力が低下しないように

河野としのり県議

毎日のように生成AIの取組について、新聞、テレビ、マスコミ等は取り上げておられます。この大規模言語モデルを用いたシステムは、使いようによつては大変便利で、県民の問合せ、また議会の執行部の答弁作成に利用すれば、その骨

格は直ぐに作り上げられ、そこに僅かな修正を追加するだけで、最初から全て人間の手でつくられた様に見えて来ます。また、多種多様なデータを持つネットシステムとつながっているが故に間違つた情報を引いて来たり、そのまま模倣することによつて著作権の侵害にもつ

ながつていく危険性があります。さらに、生成AIを教育、学習で活用する場合、宿題、読書の感想、詩や俳句、絵画を生成AIの生み出したそのままを使い始めると、子供たちの感性の表現力、思考する能力、思考したことへの表現力、前例のない状況を解決するための思

考する力、そういったものが低下することや、安易に他の人のものを模倣する傾向、また「AIに聞けば何でも答えてくれる、何で学ぶの？」という手っ取り早いことのみを追求する傾向が強まるのが危惧されます。DXの推進は必須として、生成AIについて伺います。



高齢者の交通者の 事故死対策について



▲県警に真剣に訴える河野としのり県議

県警交通規制課長

信号灯器のLED化は、令和6年度予算案のうち交通安全施設整備事業の中で行うものであり、今年度と比較し約8億1千9百万円の増額となる約13億7千9百万円の予算によりLED化事業を推進していくこととしております。

増額となる理由としましては、信号用電球が令和9年度末をもって生産終了となることから、今後、各年の事業量を増やし重点的にLED化を進めていくことによるものであります。

LED信号灯器は、電球式と比較し省電力化が図られるほか、視認性が向上することによる事故抑止効果も期待できるため、引き続き計画的な整備に努めてまいりたいと考えております。

河野としのり県議

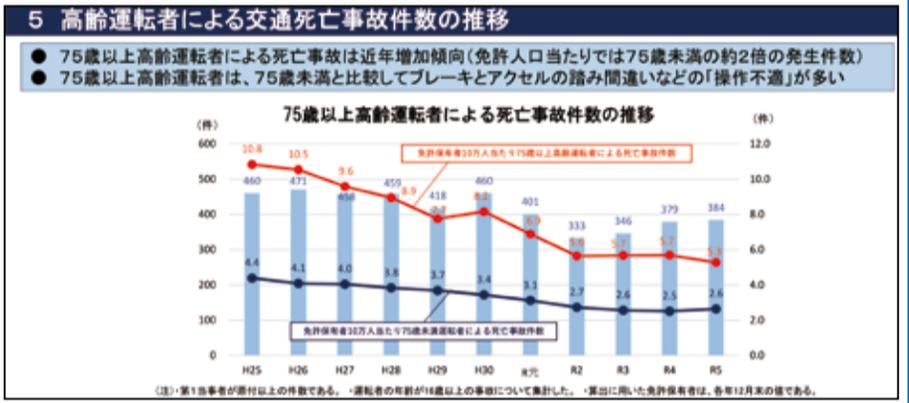
令和5年中の高齢者歩行者の交通事故死は36人で、そのうち8割（つまり36人中28人）が道路横断中であり、また6割（つまりその36人中23人）

河野としのり県議
昨年の県内の交通事故死者数は全国で5番目に多い127人で2年連続で増加しています。そのうち高齢者が69人と半数以上を占め、36人が歩行中に死亡したとのこと。これら高齢者に対する事故を一件でも減少させるために、歩道の整備、信号機の設置が有用であると思いますが、特に高齢者の特性を考慮すれば、LED化など信号表示の見やすさは重要であります。更に暗くなつてから高齢者が横断歩道を歩くときはもちろん俊敏性も劣り、特段の注意が必要です。そこで伺います、信号機のLED化を早期に進めることが重要と考えるが、令和6年度予算案ではどのように計画されているのか。



高齢者の持ち物や靴に直接貼り付ける反射材テープ

反射材付きのエコバッグ



とに組み組んでいるのか。

県警交通総務課長

県警では、高齢歩行者が交通事故に遭わないための対策として、道路横断時の安全確認の徹底等、安全行動を理解させることや、**反射材の着用**を促進するため、交通安全教育や各種のキャンペーンを実施しています。特に、キラリアップちばのキャッチフレーズにより、交通安全教育の機会等に、**反射材付きのエコバッグの配布**、**反射材を高齢者の持ち物や靴に直接貼り付ける**など、**反射材の普及促進に取り組んでいる**ところです。

河野としのり県議

環境生活部では、高齢者の交通安全のために、どのような対策を行っていくのか、又その対策に係る予算はどのように

計上されているのか。

健康生活部くらし安全推進課長

高齢者が被害に遭うケースが多い夜間歩行時の事故防止に向け反射材の着用の大切さなどを啓発する高齢者向け動画を県内約30か所の病院の待合室等で放送します。また、同じく被害の多い自転車乗車時の事故防止などに向けヘルメットの着用及び保険加入の促進を図る出前講座を開催するほか、地域の高齢者の交通安全リーダー養成研修や啓発物資等の配布を推進します。

それら予算として、高齢者向け啓発動画の放映費用として750万円、出前講座の開催費用として290万円、交通安全シルバードライバー養成研修や啓発物資等の作成費用として約130万円を計上して

幕張西6-51の土地は緑地として公共活用

河野としのり県議

幕張西6-51の土地は平成17年にマンション用地として住宅事業者に分譲されたが地域の方々の反対があった。その後、地域の方々の希望にそった姿にきちんとなつているのか。

河野としのり県議

住民にとっては、希望どおりマンション等は建たず、公園の一部の緑地とするという事ですね。

企業局土地分譲課副課長

そういう事です。

企業局土地分譲課副課長

令和5年6月、千葉市からこの土地を緑地として公共活用するため、企業局に無償譲渡を受けたいと協議があった。

検討の結果、令和6年2月に緑地として公共活用する土地譲渡契約書を千葉市との間



河野としのりプロフィール
昭和48年 早稲田大学理工学部卒業
50年 早稲田大学大学院修士課程修了
同年 東洋エンジニアリング株式会社入社
平成7年 千葉県議会議員初当選
16年 千葉県監査委員
17年 防災対策委員
20年 民主党県連幹事長
令和5年 現在 千葉県議会議員3期当選
立憲民主党千葉県連合会代表代行



河野としのり事務所
〒261-0013 千葉市美浜区打瀬1-2-2 幕張タワー305
TEL.043-211-0024

